



precisely

MapInfo Pro v2023

使いやすい強力な GIS - MapInfo Pro v2023 で空間分析は新次元へ

位置データは企業の意思決定のための重要な付加情報となりますが、その分析には困難が伴います。試行錯誤しながら地図を作成するアプローチでは、失敗に高すぎる代償を払うことになってしまいます。例えば、場所の分析情報が不十分な状態で新しいファストフード店を開店してから必要な集客を見込めないとか分かって、移転することはできません。

MapInfo Pro は、位置データをより簡単に取得・管理・分析・視覚化し、関係性やパターン、傾向を明らかにするための、非常に使いやすい地理情報システム (GIS) です。

MapInfo Pro v2023 に新たに追加された 3D 可視化によって、幅広いユーザーが複雑な空間コンテキスト情報をより手軽に利用できるようになります。都市計画、海岸沿岸モデリング、災害管理など、さまざまな用途に活用が可能で、ビジネスクリティカルな調査結果をさまざまなチームや部門と共有して、組織企業全体が位置情報にすばやくアクセスできます。

MapInfo Pro を使用すると、周囲の世界を探索、モデル化し、それに基づいて対応ができます。

探索

主な地形やその相互関係に関する情報を集めることで位置をより正確に把握できます。任意の地図記号、テーマ、ラベルを利用してデータを視覚化できます。1 枚の地図上に複数のデータセットを重ね、これまで見えなかったパターンを浮き彫りにすることも可能です。

モデル化

企業データを地図や人口統計に統合し、この情報と当社の強力な空間クエリおよびモデリング ツールを組み合わせます。各種シナリオを実行し、ロケーションの可能性を正確に最新の状態で表示することができます。

対応

理解しやすいモデルを構築し、企業の意思決定者が各シナリオの各立地場所の属性と欠点を完全に把握できるようにしたり、ビジネスを推進する対応ができるよう支援します。



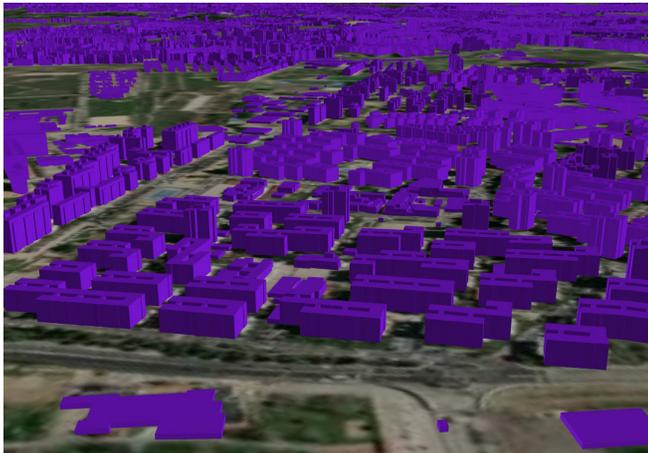
MapInfo Pro を使用すると、周囲の世界を探索、モデル化し、それに基づいて対応ができます。



MapInfo Pro の強力なツール

MapInfo Pro は、幅広いデータ サポートを提供することで、GIS のプロが情報を利用して視覚化し、場所の分析情報をより簡単に抽出できるようにします。同時に、機能をカスタマイズすることで、MapInfo Pro エクスペリエンスを自分好みに変更できます。

最新バージョンの MapInfo Pro で導入・強化された追加機能により、リスクと新しいビジネスチャンスをもっと簡単に活用できます。

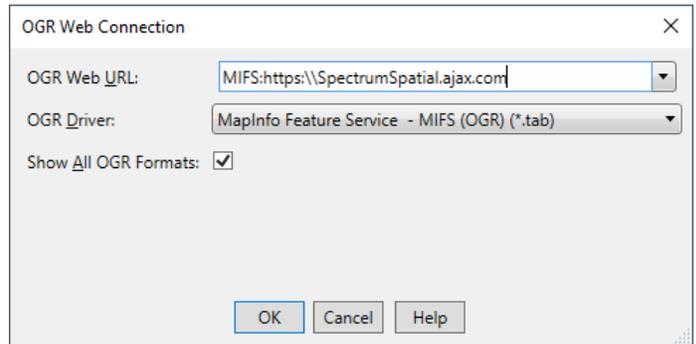


MapInfo Pro の3次元ビューはより良い意思決定を後押しします。

現実世界は3Dで出来ています。そのため3次元空間データを視覚化すると、地形、建物、オブジェクトのより包括かつ現実的な表現が得られます。MapInfo Pro を使用すると、追加のツールや拡張機能を使用せずに3Dデータを視覚化し、より適切な意思決定を行うことができます。

- OpenGL レンダリングを使用して3Dデータを視覚化することで、業界に関係なく様々な用途に活用できます。
 - o 通信網計画: 見通し線、地形、植生、および信号強度に影響を与える可能性のある障害物に基づいて、通信塔の最適な位置と高さを見つけます。
 - o 災害管理: 地形、建物、インフラストラクチャーの3Dモデルを使用して、被害のリスクが最も高いエリアを特定し、避難または避難場所の計画を立てます。
 - o 自然資源管理: 環境への影響を評価、採掘候補地の特定など、土地利用についてより多くの情報に基づいた決定を下します。
 - o 都市計画: 詳細な3D環境で空間データ、ゾーン分け、生活や産業活動の基盤となっている施設(インフラストラクチャー)、建築的側面を分析することで、都市をより効果的に設計および開発します。
- データを2Dと3Dで同時に表示し、従来の表現では見られなかったパターンや関係を明らかにします。
- MapBasic ツールとステートメントを使用して標高などの次元属性を追加することにより、新たな次元をデータにもたらします。

エンタープライズレベルの空間分析にシームレスに接続



MapInfo Pro は Spectrum Spatial に接続し、素早く簡単に空間情報へアクセスします。

GIS アナリストが一人で業務をしなければならない時代は終わりました。現代の GIS アナリストは、ビジネス専門家、データベース専門家、開発者からなる大規模なチームの一員であり、より適切な意思決定を行うために、関係者全員が位置情報に迅速にアクセスする必要があります。

- 当社のエンタープライズ ロケーション インテリジェンス ソリューションである Spectrum Spatial に接続することで、データのコラボレーションと共有機能を最大限活用します。
- Spectrum Spatial Feature Service に接続して、ベクターデータを表示および編集します。
- Spectrum Spatial への MapInfo TAB ファイルのアップロードを効率化することで、データの準備にかかる時間を節約し、生産性を向上します。

強化された位置分析ツールキットにより分析時間を短縮

- ユーザーからのフィードバックにより機能強化。スムーズなナビゲーションと生産性の向上を実現します。
- 更新された MapInfo Marketplace で、ターゲットを絞った機能を備えたカスタム ツールを数秒で搭載します。

エキスパートによるサポート

- 当社の技術サポートスタッフにリアルタイムで相談し、実装、最適化、トラブルシューティング、問題解決に関するアドバイスがもらえます。
- オンライン ケース管理システムを使用して、サポートが必要な問題を記録・追跡できます。
- Precisely オンライン ナレッジベースを利用すると、製品マニュアルやその他の資料を検索できます。
- MapInfo Pro ナレッジ コミュニティにアクセスすると、MapInfo Pro の今後の情報を手に入れたり、時間の節約になるヒントやコツを同業者や Precisely のスタッフから学ぶことができます。

次世代の位置分析が簡単に

GIS のプロが位置ベースのデータを管理、分析、視覚化、公開し、組織全体のデータとエンタープライズ マッピングを接続するための完全なデスクトップ マッピング ソリューションの価値を体験してみましょう。

MapInfo Pro はサブスクリプション サービスとして利用できるようになりました。1 年間および 3 年間のサブスクリプションには、メンテナンス、アップデート/アップグレードの自動通知機能と、これまでは MapInfo Pro Advanced でしか利用できなかった機能が含まれています。これには、当社が特許を取得した独自の Multi-Resolution Raster (MRR) データ形式も含まれます。MRR は極めて巨大なラスター データセットを保存・処理するための高性能フォーマットで、とりわけ農業、石油・ガス、電気通信産業に携わるアナリストに重宝されています。

仕様

MapInfo Pro v2023

Windows 10 (64-bit)

Windows 11 (64-bit)

Windows 2019 Server (64-bit)

Windows 2019 Server (64-bit with XenApp)

Windows 2019 Server (64-bit with Citrix Virtual Apps)

Windows 2022 Server (64-bit)

[完全リストを見る](#)

無料お試し版

今すぐ MapInfo Pro をお試しください。
強化された GIS 機能を便利で選択の幅が広いサブスクリプションで体験してみましょう。

30 日間無料でお試しいただけます。